

市政ニュース

「日頃から防災の心構え」防災ワンポイント」 書籍版発刊＆北但大震災メモリアル事業開催

「防災ワンポイント」は、平成22年度に特定非営利活動法人環境防災総合政策研究機構(東京都)の協力を得て制作し、FMジャンゲルや防災行政無線で放送した防災啓発番組です。これは、災害に関連する各分野の専門家などが、防災についてのワンポイントを伝える番組でした。

このたび、この番組内容を基に編集・制作された書籍(フルカラーA5サイズ250ページ)が同人から発刊されました。

市では、この本を全区に配布するなど、防災啓発に役立てることとしています。

また、大正14年5月23日に発生した北但大震災から今年で87年となります。

本市に甚大な被害をもたらした震災を風化させることなく、後世の防災・減災対策に生かすため、北但大震災メモリアル事業を5月19日、出石

文化会館「ひほこホール」で開催しました。

当日は、出石町在住の中村英夫さんを講師に迎え、「北但大震災〜過去最大の惨害から学ぶこと」と題して講演いただきました。中村さんは、震災後の絵はがき・報道・調査報告書などの写真300枚以上を写しながら、「北但大震災」の様子を紹介しました。

会場のギャラリーでは、震災写真展を行い、豊岡の大火災の様子、倒壊家屋や避難者震災後の城崎温泉の写真など約60点を展示し、紹介しました。



▲冊子は全てQ & A方式で分かりやすい

絵本で使用した原画の寄贈 普天間かおりさんが市役所を訪れました

平成19年7月、国内の自然界で46年ぶりにコウノトリのひなが巣立ちました。この巣立ち映像とともに普天間かおりさんの曲「守りたいもの」が流れ、話題となりました。この名曲に、ユニセフの絵はがきなどを手掛けたイラストレーター牛嶋浩美さんの絵を合わせたCD付きの絵本『守りたいもの』が、昨年10月に出版されています。

4月24日、普天間さんと牛



▲中貝市長(中央)に絵本の原画を贈呈した普天間かおりさん(左)と牛嶋浩美さん(右)

東日本大震災の支援に対して 宮城県から感謝状が届きました

市は、平成23年3月の東日本大震災に際し、宮城県の自治体(石巻市、大崎市、気仙沼市、多賀城市、登米市、美里町、山元町、南三陸町など)に対して、救助捜索活動や給水支援、行政事務支援などさまざまな支援を行いました。

さらに、被災者の心の支えとなるよう、市民の皆さんや各団体から提供された物資(野菜、米、パン、水、粉ミルク、

紙おむつ、かばん、灯油など)も届けました。

この支援に対して、宮城県の村井嘉浩知事から本市に感謝状が届きました。



▶宮城県からの感謝状

市議会の同意を得て 任命された委員(敬称略)

【教育委員会委員】
(任期4年)



▲友田千織

主な市政の動き

- 11日・市政懇談会(出石、12日・日高、16日・城崎、17日・竹野、24日・但東、5月7日・豊岡)
- 14日・コウノトリ野生復帰の取組み象徴モニュメントお披露目式
- 19日・アメリカシアトル市ウィットマン中学校国際交流体験学習使節団来訪(〜24日)
- 27日・ラムサール条約COPP10決議文X131履行と水田の生物多様性増進のための韓・日自治体ネットワーク構築参加(韓国、5月1日)
- 10日・「円山川下流域・周辺水田」がラムサール条約湿地の新規登録候補地に決定
- 11日・水道まつり

おめでとう！トキ！〜野外で待望のひなが誕生！

中貝市長から祝電を送りました

4月22日、新潟県佐渡市で放鳥トキのペアからひなが誕生したと報道されました。

そこで、中貝市長から甲斐元也佐渡市長へ祝電を送付しました。



▲豊岡でもコウノトリのひながスクスクと

方たちにとって待ちに待った朗報であることはもちろん、

同様の取組みを続けている本市をも勇気づける出来事です。な一歩です。

《送付した祝電》

新しいいのちの誕生を心よりお祝い申し上げます。

佐渡の皆様方のこれまでのご苦労と高い志に心からの敬意を表します。

長い絶望の時を耐え抜いて到達された快挙で、人とトキの歴史に新たな1ページが加わりました。

これからも一歩ずつ、一歩ずつ、共に歩みを進めてまいります。

小さな命を懸命に守ろうとする親鳥たち。佐渡の皆さんも同じ思いだと思います。

野生の厳しさに打ち勝ちひながすくすくと育っていきま

トキが舞い、コウノトリが舞う豊かな日本再生への大

舞うふるさと豊岡からお祈り申しあげます。

ラジオに加え、動画でも配信！ FMジャングル新番組「とよおか！こんな人おんなるで!!」スタート

「豊岡の人」(豊岡で暮らす人や働く人)にスポットを当てた番組がFMジャングルで5月から始まりました。

番組は、コミュニティFMのインターネット放送「サイマルラジオ」で提供する

他、新たに動画配信サイトのUstreamやYouTubeでも配信します。

① FMジャングル
毎月第4火曜日午後1時〜
再放送：第4木曜日午後8時〜、第4土曜日午後8時30分

② インターネット放送「サイマルラジオ」
放送日時は、①に同じ
配信サイトURL
<http://www.simulradio.jp/#/kinki>

③ USTREAM ※ライブ配信
毎月第2木曜日午後8時〜
配信サイトURL
<http://www.ustream.tv/channel/toyooka-konnahito>

④ YOU TUBE
③を編集して翌月上旬から配信開始
配信サイトURL
<http://www.youtube.com/user/FMJUNGLE>

中貝市長の徒然日記 ㊦

韓国への旅(1)

慶尚南道ラムサール財団の招きで、佐渡、大崎の方たちと一緒に韓国チャンニョン郡へ行ってきました。関係者と湿地としての水田の保全について意見交換をし、ネットワークを作ろうという試みです。

4月29日のシンポジウムで、佐渡の甲斐市長がトキのひな誕生の映像を流すと、会場に大きな拍手が沸きました。

豊岡からは、私のほかに岡治さんのコウノトリ育む農法の発表がありました。

実は出発前、ひな誕生のニュースを知って、前市長の高野さんにお祝いの電話を入れました。引退後の朗報でした。「任期中ならもっと良かったでしょうが」「いえ、発見は昨日ですが、生まれたのは1週間ほど前ですから」「じゃあ、ぎりぎりセーフですね」

シンポジウム打ち上げの夜、スピーチを促されました。「水田は水をためます。たまった水は地下にしみ込み、やがて地下水となり、韓国の皆さんと私たちは、その地下水脈でつながっています」

野生復帰を進めてきた者同士、本当に良かったです。

後で、同行していた市の職員から聞きました。「3人並んでいた韓国の女性が、地下水脈でつながっていると聞いて涙を流していました。それを見て船越君(コウノトリ飼育員)も泣いていました」

チャンニョン郡では、トキが飼育されています。以前、学生たちを中心に中国のトキにラブコールを送る運動

日本と韓国のつながりを強めつつあります。

が起き、7万人の署名が集ま

ました。それが中国最高指導者の胡錦濤氏の耳に入り、2008年、2羽のトキが贈られました。同年韓国で開催されたラムサール条約COP10に参加した際、招かれて飼育場を訪れ、モニター越しではありましたが、私は、韓国のトキを見た最初の外国人になりました。トキは今、15羽に増えているそうです。